

第80回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成14年7月12日(金) 13:30～16:30

場所：八重洲センタービル会議室

出席者：委員長 大崎 (東京大)

副委員長 北野 (JR東海)

委員 内海 (東海大)、荻田 (神鋼電機)、古関 (東京大)、増田 (日立製作所)、
村本 (東洋電機製造)、渡部 (富士電機総研)、海老原 (武蔵工業大)、
楡井 (長野高専)、アハメド (東京電機大、代理幹事)、渡辺 (FDK)

幹事 水野 (信州大)、村井 (鉄道総研)

幹事補佐 真田 (大阪府立大)、鳥居 (武蔵工業大)

提出資料

- 80-1 第79回リニアドライブ技術委員会議事録案 (村井幹事)
- 80-2 リニアドライブ技術委員会名簿 (鳥居幹事補佐)
- 80-3 平成15年全国大会シンポジウム課題提案の依頼 (大崎委員長)
- 80-4 平成14年度活動中及び新設予定の調査専門委員会 (大崎委員長)
- 80-5 平成14年度 各委員会予定一覧表 (村井幹事)
- 80-6 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会解散報告書 (案) (北野副委員長)
- 80-7 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール (案) (水野幹事)
- 80-8 交通・電気鉄道/リニアドライブ合同研究会 (大崎委員長)
- 80-9 交通・電気鉄道/リニアドライブ合同研究会 見学会の御案内 (大崎委員長)
- 80-10 電気学会リニアドライブ・マグネティックス合同研究会 (案) (楡井委員)
- 80-11 委員会構成員変更届 (大崎委員長)
- 80-12 委員会構成員変更届 (大崎委員長)
- 80-13 委員会構成員変更届 (大崎委員長)
- 80-14 電気学会産業応用部門大会のポスタに関する資料提出のお願い (水野幹事)
- 80-15 産業応用フォーラム実施フローチャート (水野幹事)
- 80-16 医用電磁駆動システム産業化促進協同研究委員会 (ECD) 活動報告 (福井委員)
- 80-17 汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術調査専門委員会 (SEL) 活動報告 (渡辺委員)
- 80-18 磁気浮上系における連成問題調査専門委員会 (MLV) 活動報告 (引原委員)
- 80-19 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会 (TLP) 活動報告 (水野幹事)
- 80-20 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会 (LMD) 活動報告 (楡井委員)
- 80-21 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会 (SLD) 活動報告 (北野副委員長)
- 80-22 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会活動方針及び報告書 (北野副委員長)
- 80-23 多次元ドライブシステム調査専門委員会 (MDD) 活動報告 (海老原委員)
- 80-24 第5回 医用電磁駆動システム産業化促進協同研究委員会 議事録 (福井委員)
- 80-25 第5回 汎用リニアドライブにおけるサーボ制御とセンサ技術調査専門委員会 議事録 (渡辺委員)
- 80-26 第9回 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会 議事録 (北野副委員長)
- 80-27 第10回 超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会 議事録 (北野副委員長)
- 80-28 第5回 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会 議事録 (水野幹事)
- 80-29 第6回 産業用リニア駆動システムの評価技術調査専門委員会 議事録 (水野幹事)
- 80-30 第1回 多次元ドライブシステム調査専門委員会 議事録 (海老原委員)

議事

議事に先立ち、新幹事グループの紹介が行われた。

1 議事録確認

資料80-1を用いて議事録確認を行い、議事1行目「長谷川氏 (松下電機)」を「長谷川氏 (松下電工)」に、議事2.6「資料79-30」を「資料79-20」に、議事「4 審議事項」を「各調査専門委員会活動報告」

に、それぞれ訂正の上、承認された。

2 報告事項

2.1 資料 80-2 を用いて委員会名簿の確認を行った。

2.2 資料 80-4 を用いて、大崎委員長から D 部門内委員会活動状況の確認があった。

2.3 資料 80-5 を用いて、平成 14 年度各委員会の予定を確認し、以下の修正・追加があった。

(1) LMD 委員会：10/25 を削除、11/7 を追加

(2) MLV 委員会：10/17 を 10/4 に変更

(3) ECD 委員会：8/9, 10/2, 12/2/ の予定を追加

(4) 平成 15 年度の予定に 5/28-30 電磁力シンポ、5/12-14 ISEM-Versaille、9/8-10 LDIA2003 を追加。
12/13 の MDD 委員会は研究会と重なるため、要調整とした。

2.4 資料 80-7 を用いて、各委員会の資料提出スケジュールの確認が行われた。多次元ドライブシステム調査専門委員会の略号を MDD とすることを確認した。

2.5 大崎委員長より、資料 80-8 及び 80-9 を用いて、7/25-26 開催 LD 研究会と見学会の案内があった。

2.6 楡井委員より、資料 80-10 を用いて、11/7-8 開催 LD 研究会の案についての説明があった。場所が不便であること、宿泊が限定されていることが指摘され、再考すると共に発表数・参加数増加の方策をとることが要請された。

2.7 水野幹事より、資料 80-11 及び 80-12 を用いて、TLP 委員会委員退任及び追加（巖氏の退任、矢島氏の追加）の報告があった。

2.8 北野副委員長より、資料 80-13 を用いて、SLD 委員会幹事の交替（古賀氏より松田氏へ交替）の報告があった。

2.9 水野幹事より、資料 80-14 を用いて、D 部門大会技術委員会ポスタの製作に関する資料提出の依頼があった。

2.10 水野幹事より、資料 80-15 を用いて、産業応用フォーラムの現状についての説明が行われた。7/18 に約 30 名の参加者を得て TLP 委で実施する予定が述べられた。

3 審議事項

3.1 大崎委員長より、資料 80-3 を用いて、全国大会のシンポジウムの実施状況が述べられ、これを基に平成 16 年までの全国大会シンポジウムの提案予定が検討された。平成 15 年全国大会に MLV 委、平成 15 年 D 部門大会に MDD 委、平成 16 年全国大会に TLP 委が、それぞれ提案する予定とした。

3.2 北野副委員長より、資料 80-6 を用いて、超電導磁気浮上式鉄道の高性能化技術調査専門委員会の解散報告書案の説明が行われた。報告時期についての議論の後、承認された。また、これに関して次期委員会設置は 2～3 ヶ月遅らせる予定であるとの報告があった。

4 各調査専門委員会活動報告

資料 80-16～80-30 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

以上